

(4) 道路関係

静岡県東部・伊豆地域の発展を支える道路整備として、高規格幹線道路である伊豆縦貫自動車道(東駿河湾環状道路、河津下田道路(Ⅰ期)(Ⅱ期)、天城峠道路)及び国道1号、138号、246号の改築及び維持管理並びにそれらに関する調査を行います。

令和5年度の主な事業内容

■ポイント

○国道414号天城峠道路(月ヶ瀬～茅野)が新規事業化

◆伊豆縦貫自動車道

国道1号 東駿河湾環状道路

○大場・函南IC～函南IC(仮称)(延長1.9km)

－関係機関協議を推進

国道414号 河津下田道路(Ⅰ期)

○下田北IC(仮称)～下田IC(仮称)(延長5.7km)

－関係機関協議、地質調査、環境調査、水文調査、埋蔵文化財調査、橋梁設計、用地調査、用地買収を推進

国道414号 河津下田道路(Ⅱ期)

○河津逆川IC～下田北IC(仮称)(延長3.8km)

関係機関協議、環境調査、水文調査、用地買収、改良工、橋梁上部工、トンネル工を推進

国道414号 天城峠道路

○月ヶ瀬IC～茅野IC(仮称)(延長5.7km)

－測量、関係機関協議、道路設計を推進

◆一般道路

国道1号 ひがしするがわん 東駿河湾環状道路 (沼津岡宮ぬまづおかのみや～愛鷹あしたか)

○沼津岡宮ICぬまづおかのみや～愛鷹ICあしたか (仮称) (延長 2.6km)

- 一 測量、関係機関協議、地質調査、環境調査、水文調査、埋蔵文化財調査、道路設計、橋梁設計、用地調査、用地買収を推進

国道138号 ごてんば 御殿場バイパス (西区間)

○御殿場市水土野ごてんば みどの～御殿場市ぐみ沢ごてんば きわ (延長 2.9km)

- 一 関係機関協議、改良工を推進

国道246号 すその 裾野バイパス

○駿東郡小山町生土すんとう おやま いきど～駿東郡小山町上野すんとう おやま うえの (延長 4.4km)

- 一 測量、関係機関協議、地質調査、環境調査、水文調査、道路設計を推進

◆道路管理

静岡県東部地域の国道1号・138号・246号・414号の4路線、111.0kmを3出張所（沼津国道維持出張所：38.4km、御殿場国道維持出張所：46.9km、伊豆縦貫自動車道出張所：25.7km）で管理しています。

道路の維持管理

○道路パトロール、路面清掃、除草、除雪作業などを行います。

道路の老朽化対策

○メンテナンスサイクルの実施

- ・道路施設は5年に1度、定期的に近接目視点検を行います。
（橋梁、トンネル、函渠、横断歩道橋、情報板など）
- ・自治体の職員が点検を適切に行えるようにするため、道路メンテナンス会議の中で橋梁点検研修を開催する等、自治体支援を行います。

道路の防災・震災対策

○南海トラフ巨大地震に備え、橋梁の耐震補強を推進します。

交通安全対策

○『静岡県事故ゼロプラン～事故危険区間重点解消作戦～』等により、重点的かつ効果的に交通事故対策を推進します。

- ・国道1号山中新田地区事故対策事業
やまなかしんでん
- ・国道246号小山上野地区視距改良
おやまうえの

○歩行者や自転車が安全・安心に通行できる歩道空間を確保します。

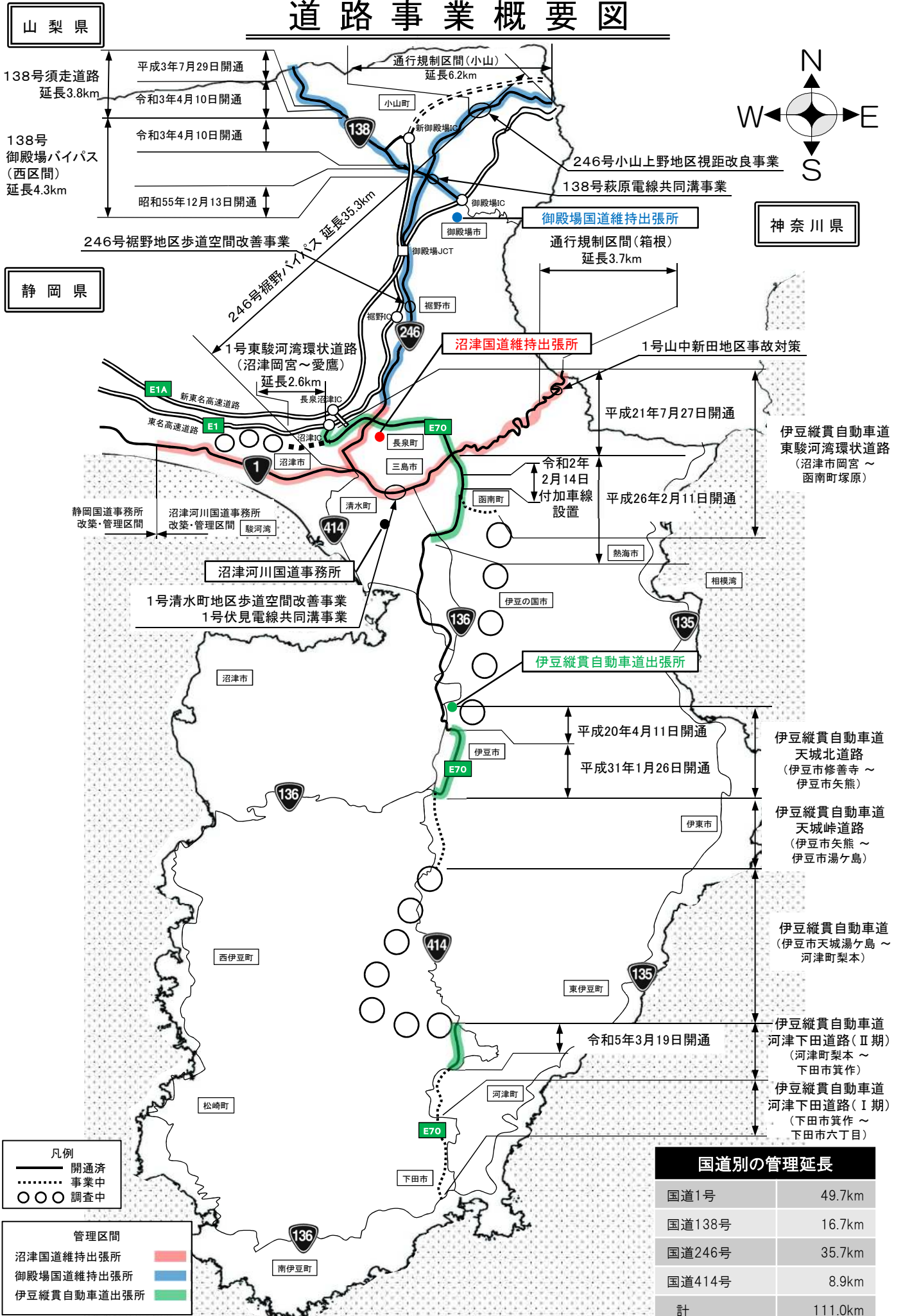
- ・国道1号清水町地区歩道空間改善
しみずちょう
- ・国道246号裾野地区歩道空間改善事業
すその

○電線共同溝を整備し無電柱化することで、地震災害に強い道路を目指すとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援します。

- ・国道1号伏見電線共同溝
ふしみ
- ・国道138号萩原電線共同溝
はぎわら

○生活道路における事故削減を目指し、技術的支援をはじめとする地域との連携を推進します。

道路事業概要図

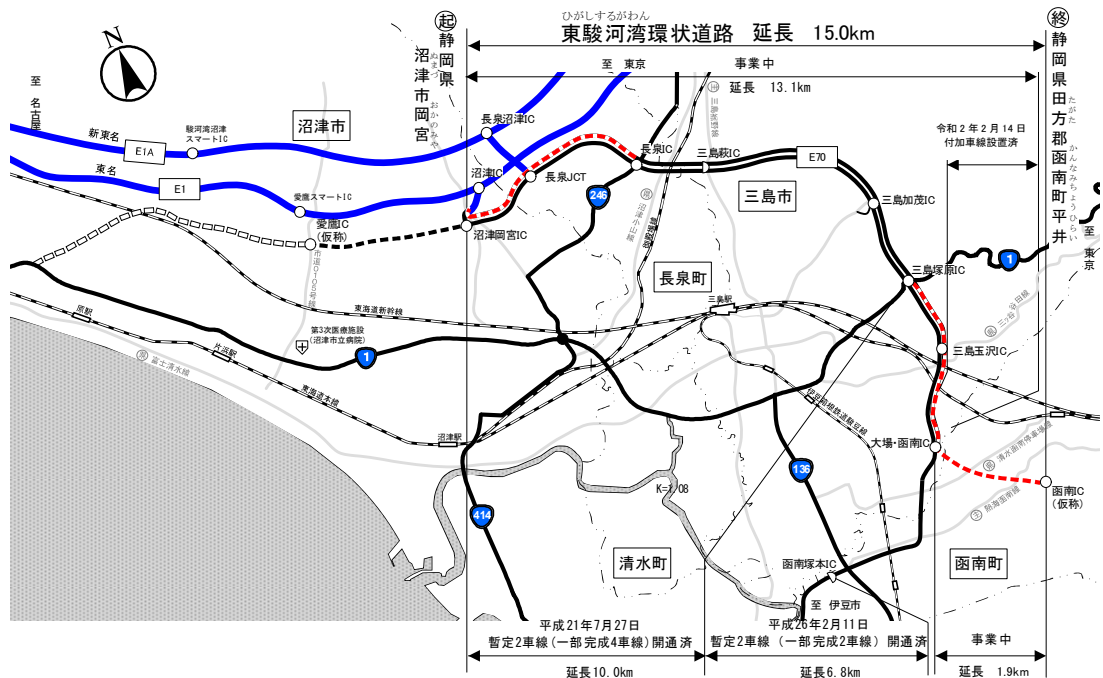


いずじゅうかん
伊豆縦貫自動車道

ひがしするがわんかんじょう
国道1号 東駿河湾環状道路

ひがしするがわんかんじょう いずじゅうかん ぬまづおかのみや たがた
東駿河湾環状道路は、伊豆縦貫自動車道の一部を構成し、沼津岡宮ICを起点とし、田方郡
かなみちょうひらい
函南町平井に至る延長15.0kmの自動車専用道路です。

ぬまづ みしま
沼津・三島市街地における交通渋滞の緩和、交通事故の削減をはじめ、
いず
伊豆地域への玄関口として伊豆半島部への高速サービスを提供し、地域の
ひがしするがわんかんじょう
発展、活性化を支援する東駿河湾環状道路の整備を推進します。



【これまでの開通経緯】

- 平成 21 年 7 月 27 日 ぬまづおかのみや みしまつかはら
沼津岡宮IC～三島塚原IC (延長 10.0km)
暫定 2 車線 一部完成 4 車線開通
- 平成 24 年 3 月 24 日 みしまかも
三島加茂IC 開通
- 平成 24 年 4 月 14 日 ながいずみ
長泉JCT 供用 (新東名 (長泉沼津IC) と接続)
- 平成 26 年 2 月 11 日 みしまつかはら かなみつかもと
三島塚原～函南塚本 (延長 6.8km) 開通
- 令和 2 年 2 月 14 日 だいば かなみ みしまたまざわ
大場・函南IC～三島玉沢IC 間の上り坂区間 (延長約 0.9km)
付加車線設置

【令和 5 年度の主な事業内容】

だいば かなみ かなみ
○大場・函南IC～函南IC (仮称) (延長 1.9km)

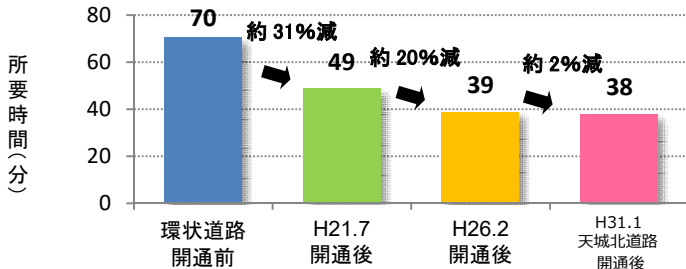
— 関係機関協議を推進

<整備効果>

■所要時間の短縮と渋滞緩和

東駿河湾環状道路が伊豆中央道・修善寺道路に接続し、広域な道路ネットワークが形成され、東名高速道路 沼津ICから天城北道路 月ヶ瀬ICまでの所要時間が短縮しました。

○東名沼津IC～天城北道路
月ヶ瀬ICの所要時間

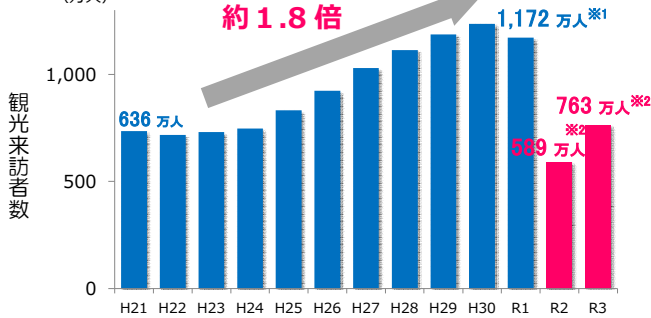


※所要時間算出方法
 ・環状道路開通前：H17 全国道路・街路交通情勢調査 旅行速度
 ・H21.7開通後：H22 全国道路・街路交通情勢調査 12時間平均旅行速度
 ・H26.2開通後：H27 全国道路・街路交通情勢調査 12時間平均旅行速度
 ・H31.1天城北道路開通後：ETC2.0プローブ情報 (H31.2)

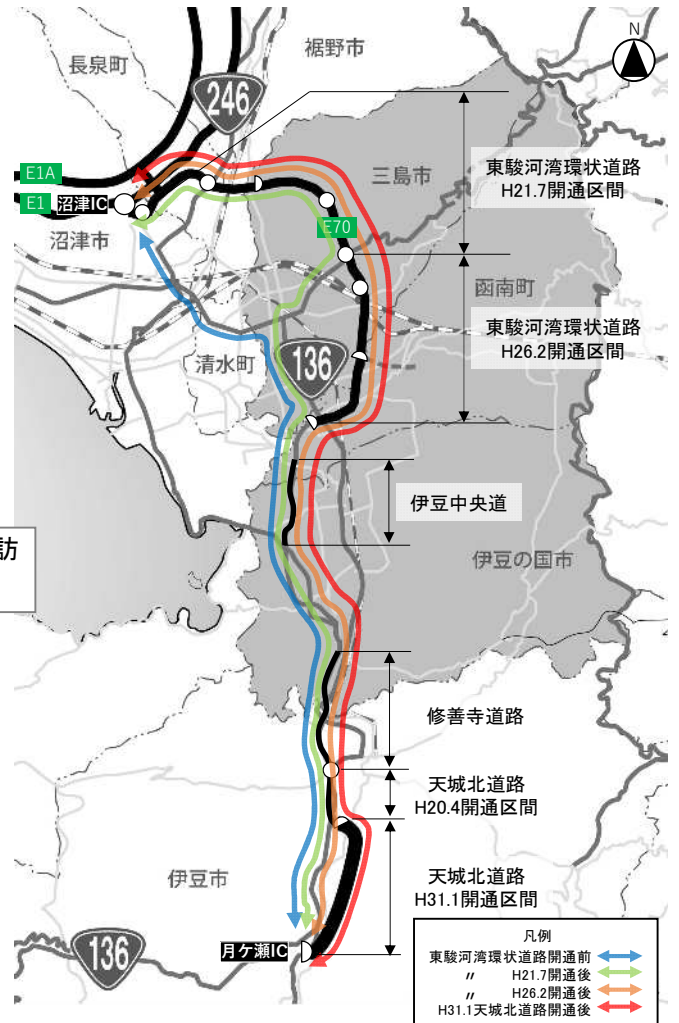
■観光交流客数の増加

沿線市町(三島市、函南町、伊豆の国市)への観光来訪者数が平成21年度に比べて約1.8倍に増加しました。

○観光来訪者数
(三島市・函南町・伊豆の国市)
(万人)



※1 令和元年度は10月以降、台風及び新型コロナウイルスの影響を受けて減少
 ※2 令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルスの影響を受けて減少
 資料：静岡県観光レクリエーション客数 (H21.4-R4.3)



国道1号 東駿河湾環状道路の状況写真

伊豆縦貫自動車道

国道414号 河津下田道路（I期）

河津下田道路（I期）は、伊豆縦貫自動車道の一部を構成し、下田市箕作を起点とし、下田市六丁目に至る延長5.7kmの自動車専用道路です。

下田市街地における観光交通による交通混雑の緩和、交通事故の削減をはじめ、伊豆半島部への高速サービスを提供し、地域の発展、活性化を支援する河津下田道路（I期）の整備を推進します。

【これまでの取組】

- | | |
|--------------|--------|
| ・平成10年4月 | 新規事業化 |
| ・平成26年11月25日 | 都市計画決定 |
| ・平成27年2月21日 | 中心杭打ち式 |
| ・平成28年8月～9月 | 設計説明会 |
| ・令和4年11月19日 | 起工式 |

【令和5年度の主な事業内容】

○下田北IC（仮称）～下田IC（仮称）（延長5.7km）

—関係機関協議、地質調査、環境調査、水文調査、埋蔵文化財調査、橋梁設計、用地調査、用地買収を推進

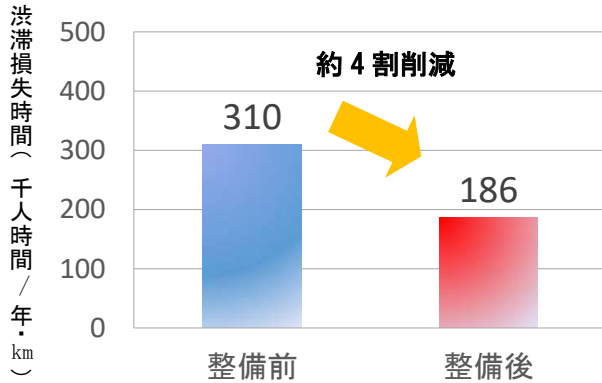


<整備効果>

■観光支援、渋滞の緩和

河津下田道路(Ⅱ期)の整備により、国道414号の夏季大型車通行規制区間を回避でき、観光交通のスムーズな通行が可能になります。また、河津下田道路(Ⅰ期)の整備により国道414号の交通が転換すると考えられ、中島橋交差点の渋滞損失時間が約4割削減することが期待されます。

○中島橋交差点の渋滞損失時間の変化

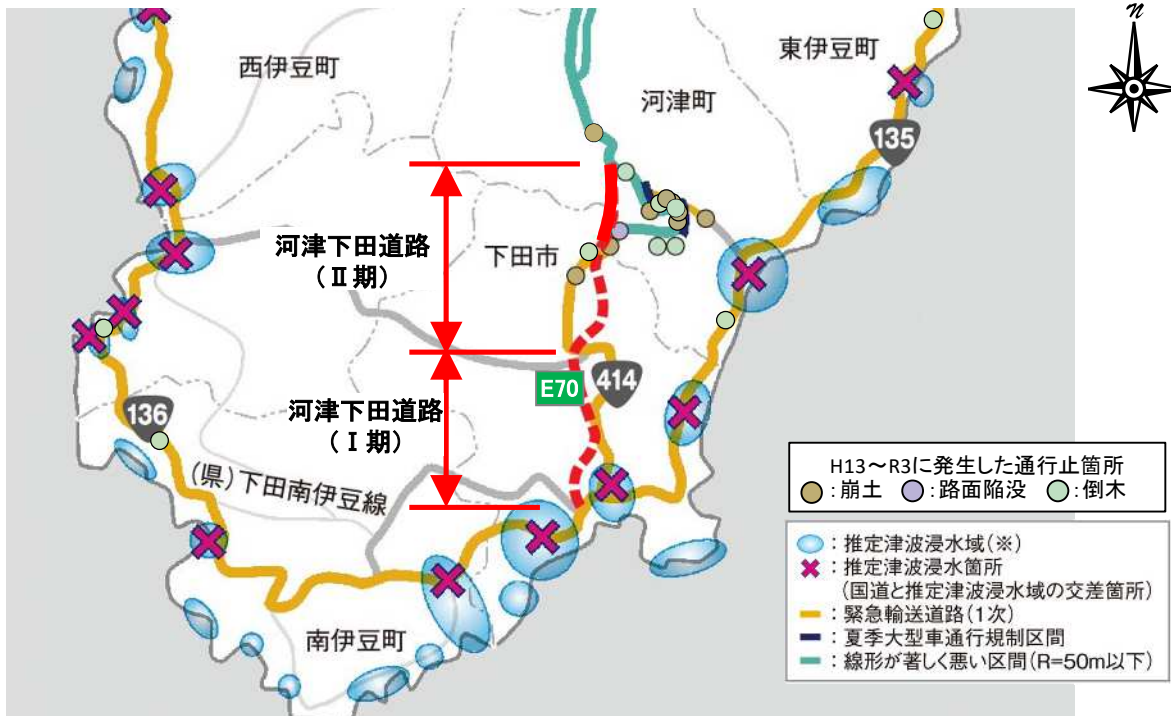


※整備前：渋滞損失時間確定値(R1)は、平均旅行時間と基準旅行時間の差(ETC2.0プローブ情報)に交通量(全国道路・街路交通情勢調査)と平均乗車人員を乗じて、年間のkmあたりとして算定
 整備後：交通量推計により整備あり・なしにおける渋滞損失時間の変化率を求め、現況値に乗じて算定



■緊急輸送道路の機能強化

南海トラフ巨大地震による津波浸水区域、線形不良区間を回避するルートを確認することで、災害時の安全性・信頼性が確保されます。



※出典：南海トラフ巨大地震の被害想定(第二次報告)(H25.3)

■救急医療活動の支援

伊豆縦貫自動車道の整備により、第三次救急医療施設までの1時間到達圏域が拡大され、救急医療活動を支援します。

○第三次救急医療施設1時間到達圏の拡大



出典：H27年全国道路街路交通情勢調査より各市役所・役場を起点として算出

○救急救命率の向上

【下田市から多量出血で搬送の例】

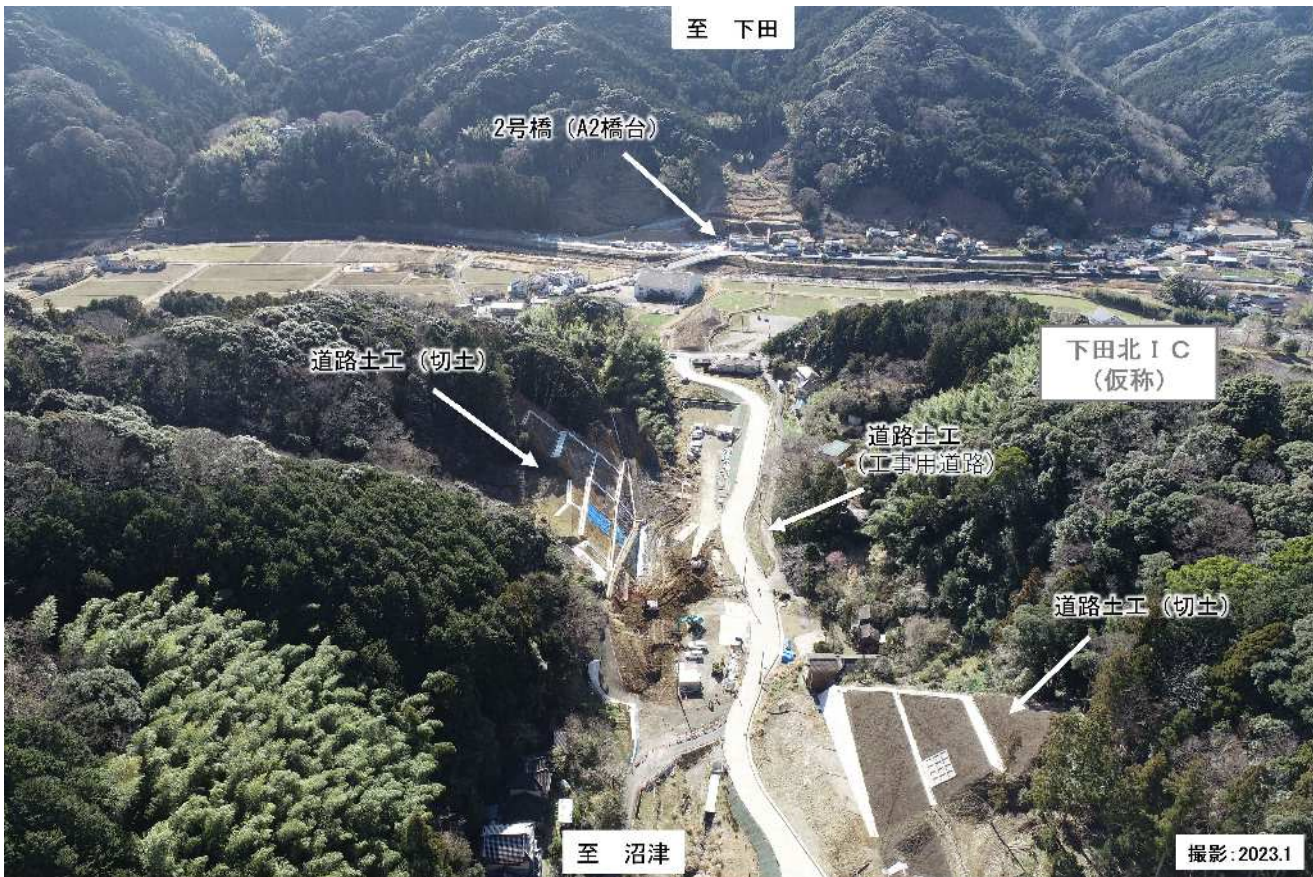
心臓停止や、呼吸停止、多量出血後は時間の経過とともに死亡率が上昇するため、一刻も早く救急病院に搬送する必要があります。



整備前：H27年全国道路街路交通情勢調査、天城北道路を設計速度(80km/h)として算出

整備後：河津下田道路(I期・II期)を設計速度(80km/h)として算出

■国道414号河津下田道路の状況写真



いずじゅうかん
伊豆縦貫自動車道

あまぎとうげ つきがせ かやの
国道414号 天城峠道路（月ヶ瀬～茅野）

あまぎとうげ つきがせ
天城峠道路（月ヶ瀬～茅野）は、いずじゅうかん
伊豆縦貫自動車道の一部を構成し、月ヶ瀬ICを起点とし、
かやの
茅野IC（仮称）に至る延長5.7kmの自動車専用道路です。

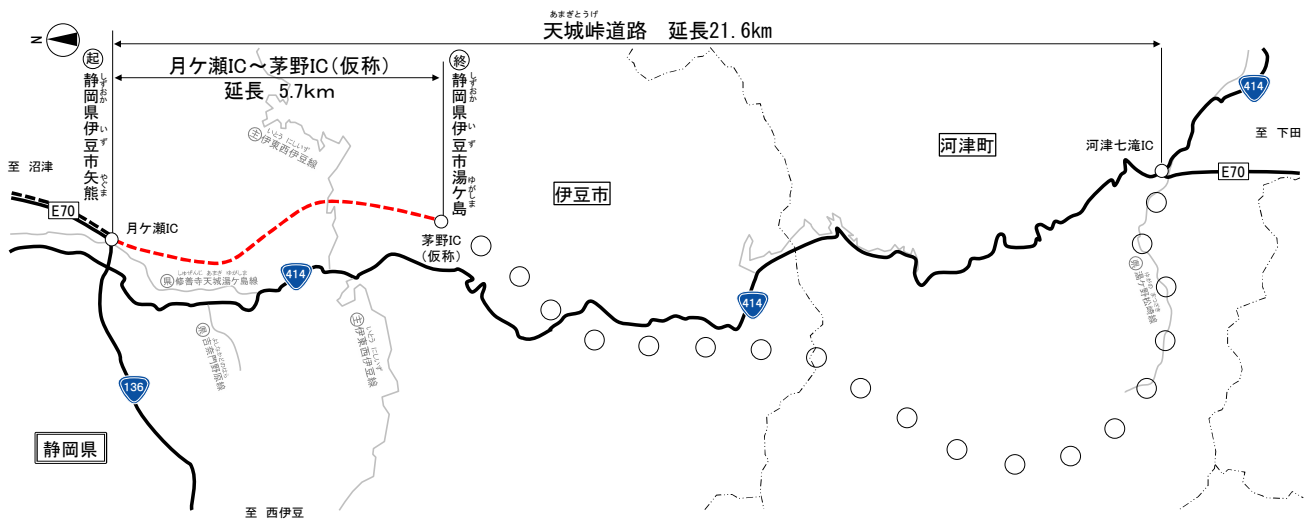
災害時にも機能する信頼性の高いネットワークの確保をはじめ、伊豆半島部の高速ネットワークサービスを提供し、伊豆地域の救急医療活動や観光振興を支援するあまぎとうげ
天城峠道路の整備を推進します。

【これまでの開通経緯】

- ・ 令和5年1月31日 都市計画決定
- ・ 令和5年4月 新規事業化

【令和5年度の主な事業内容】

つきがせ かやの
○月ヶ瀬IC～茅野IC（仮称）（延長5.7km）
－測量、関係機関協議、道路設計を推進

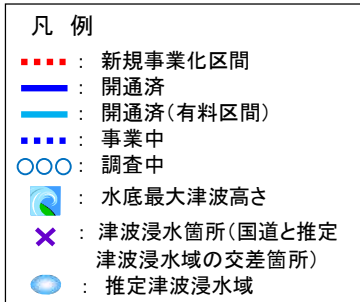


<整備効果>

■災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの確保

南海トラフ巨大地震等の発生後、伊豆地域の沿岸部では、津波による浸水が想定されています。

天城峠道路(月ヶ瀬～茅野)の整備により、災害発生時に代替性が確保され、新東名、東名高速道路からの救命・救援ルートとして、伊豆半島の支援に寄与することが期待されます。



出典: 静岡県第4次地震被害想定(第二次報告)(平成25年11月)

影響度 ランク	被害 規模	緊急輸送が可能なレベルの復旧に要する日数目安
AA	大	1週間以上
A	中	3日～1週間
B	小	当日～3日
C	なし	—

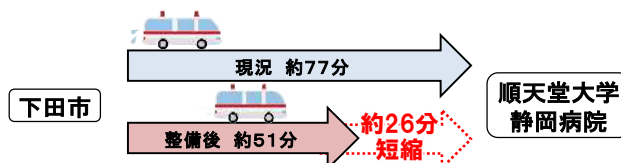
出典: 内閣府南海トラフ巨大地震の被害想定(第二次報告)(平成25年3月)より作成

■救急医療施設等への速達性・確実性の向上

伊豆地域南部には、第三次救急医療施設(順天堂大学静岡病院)へ1時間以内に到達できない市町が多く存在しています。

天城峠道路(月ヶ瀬～茅野)を含めた伊豆縦貫自動車道の整備により、第三次救急医療施設への救急輸送1時間到達圏域が拡大し、下田市からの所要時間は約26分短縮されます。

○伊豆縦貫自動車道の整備による下田市から順天堂大学静岡病院への所要時間の変化

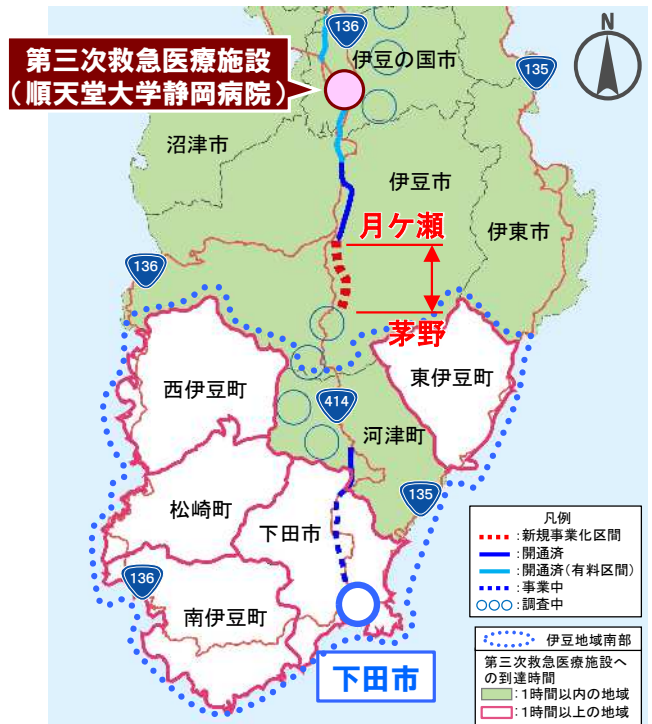


【現況】ETC2.0プローブ情報(2022年9月平日7-19時間平均)
【整備後】未開通区間(河津下田道路(I・II期)、天城峠道路(月ヶ瀬～茅野))は設計速度80km/hとして算出

○南海トラフ巨大地震発生時の被害想定



○第三次救急医療施設への到達時間

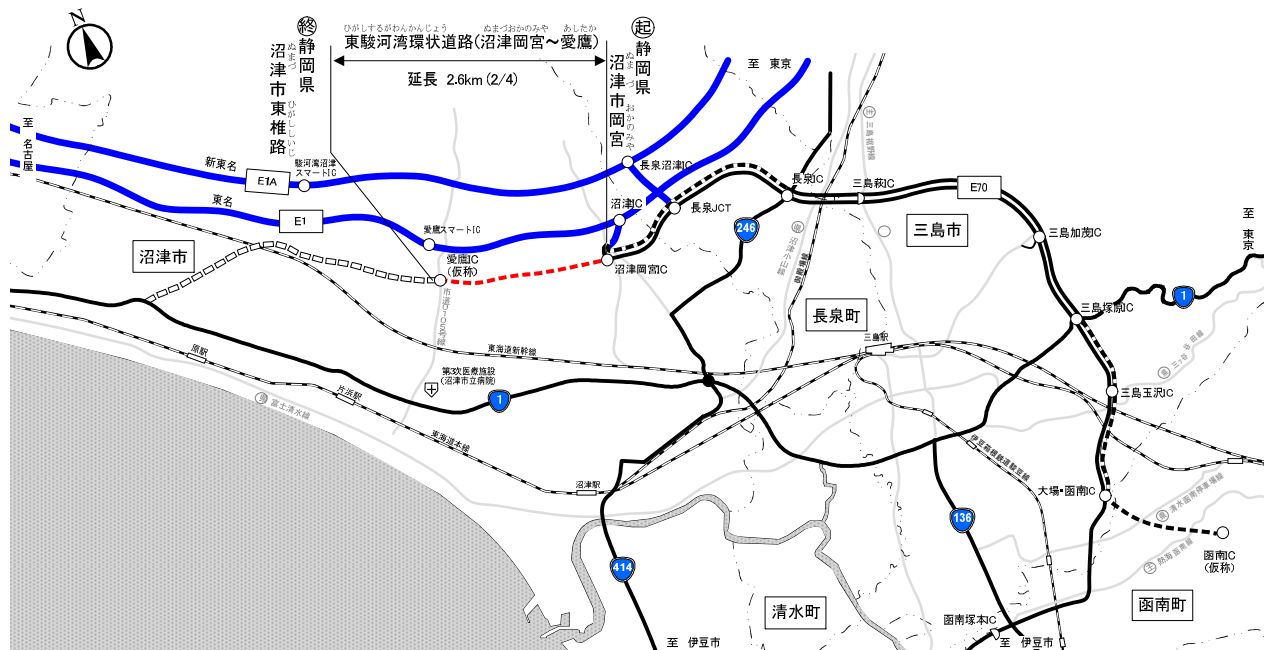


出典: 平成27年全国道路道路・街路交通情勢調査 旅行速度より算出

国道1号 東駿河湾環状道路（沼津岡宮～愛鷹）

国道1号東駿河湾環状道路（沼津岡宮～愛鷹）は、沼津市岡宮を起点とし、同市東椎路に至る延長2.6kmの道路です。

伊豆縦貫自動車道東駿河湾環状道路と一体となって沼津・三島都市圏の環状道路を形成し、現道1号等の慢性的な交通混雑の緩和及び南海トラフ巨大地震時における緊急輸送ネットワークの構築を図るため、東駿河湾環状道路（沼津岡宮～愛鷹）の整備を推進します。



【これまでの取組】

- ・昭和62年10月 都市計画決定
- ・平成27年4月 新規事業化
- ・平成28年7月 中心杭打ち
- ・平成30年6月 設計説明会

【令和5年度の主な事業内容】

○沼津岡宮IC～愛鷹IC（仮称）（延長2.6km）

- －測量、関係機関協議、地質調査、環境調査、水文調査、埋蔵文化財調査、道路設計、橋梁設計、用地調査、用地買収を推進

<整備効果>

■定時性・時間の短縮

沼津・三島都市圏を通過する国道1号の交通量の減少が見込まれるなど、都心部での慢性的な渋滞が緩和し、定時性や移動時間の短縮が図られ、住民生活や円滑な企業活動を支援します。

■災害に強い緊急輸送ネットワークの構築

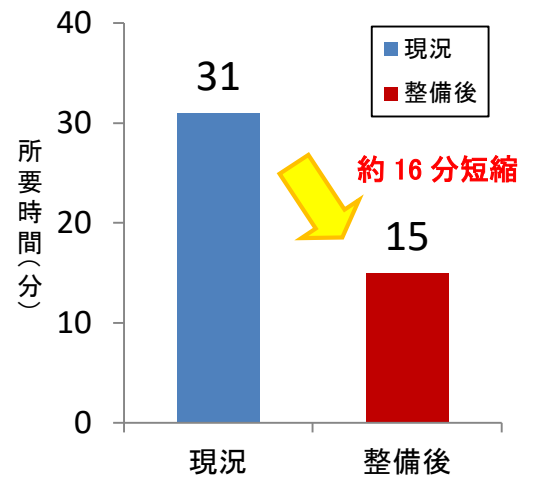
東名、新東名、東駿河湾環状道路と有機的に連結されることで、第三次救急医療施設沼津市立病院へのアクセスルートが確保され、災害に強い緊急輸送ネットワークが構築されます。

○第三次救急医療施設までのアクセスルートの変化が想定される



○所要時間の短縮の予測

(三島塚原IC交差点～市立病院南交差点)



※出典 整備前：国道1号 ETC2.0 プローブ情報 (R4.10 平日 12 時間平均)
 整備後：東駿河湾環状道路 (沼津岡宮 IC～三島塚原 IC)
 ETC2.0 プローブ情報 (R4.10 平日 12 時間平均)
 東駿河湾環状道路 (愛鷹 IC～沼津岡宮 IC) V=60km/h
 沼津市道 V=40km/h で算定

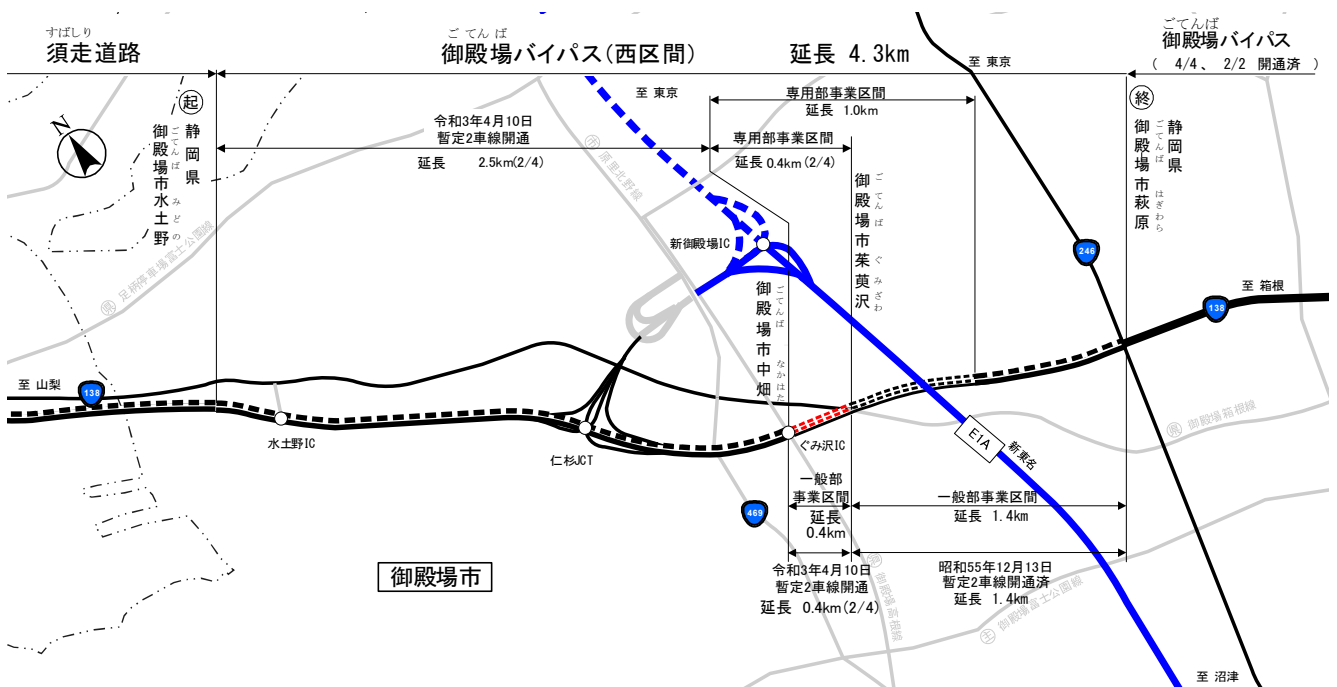


国道1号 東駿河湾環状道路 (沼津岡宮IC～愛鷹IC (仮称)) の状況写真

国道138号 御殿場バイパス（西区間）

御殿場バイパス（西区間）は御殿場市水土野を起点とし、同市萩原に至る延長4.3kmの道路です。

須走道路及び東富士五湖道路等と高速・広域ネットワークを形成することで、観光交通の集中による慢性的な交通混雑の緩和を図るため、御殿場バイパス（西区間）の整備を推進します。



【これまでの開通経緯】

- ・昭和55年12月13日 御殿場市ぐみ沢～御殿場市萩原（延長1.4km）暫定2車線開通
- ・平成11年4月 新規事業化
- ・令和3年4月10日 御殿場市水土野～御殿場市中畑（延長2.5km）暫定2車線開通

【令和5年度の主な事業内容】

○御殿場市中畑～御殿場市ぐみ沢（延長0.4km）

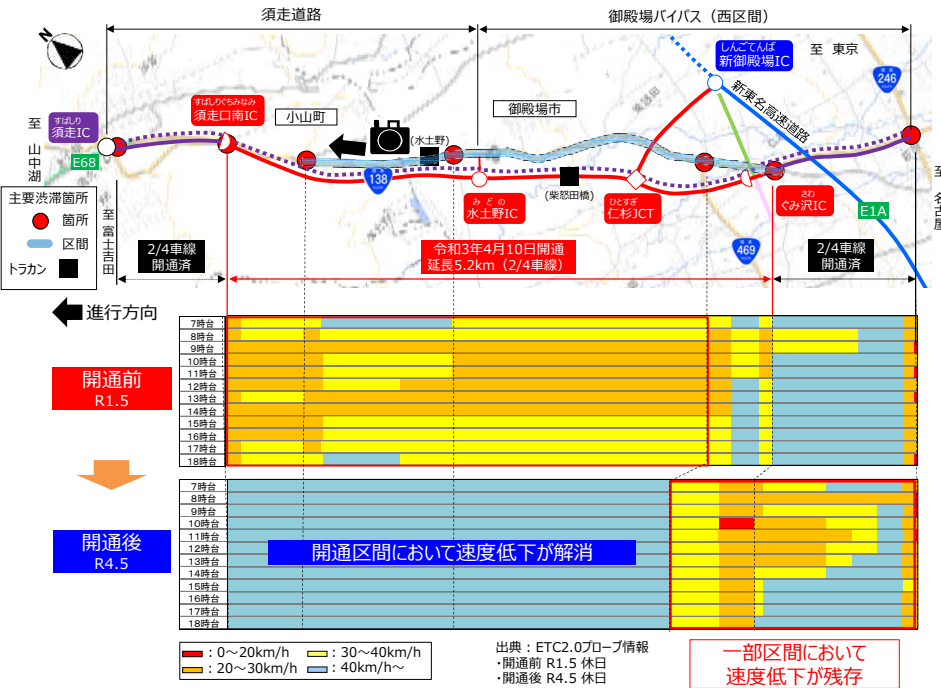
－関係機関協議、改良工を推進

<整備効果>

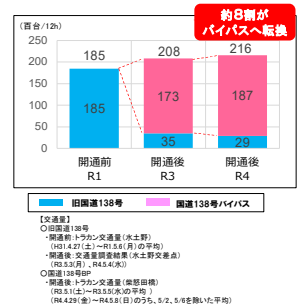
交通渋滞の緩和

須走道路・御殿場バイパス（西区間）の開通により、並行する現道の交通量が転換し、顕著な課題となっている観光期（休日）における速度低下が緩和されました。

○開通後の旧国道138号の旅行速度の変化



○国道138号の利用状況



■旧国道138号の渋滞状況(📷)



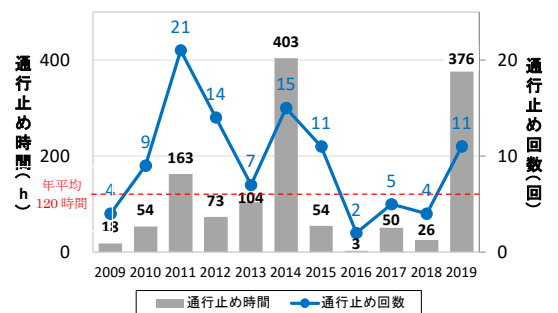
災害に強い道路機能の強化

須走道路・御殿場バイパス（西区間）の整備により、中央自動車道の通行止め時に、東名・新東名高速道路へ迂回が可能になる等、防災ネットワークが強化されます。

○東名・中央道の通行止め時にも自動車専用道路ネットワークで迂回が可能



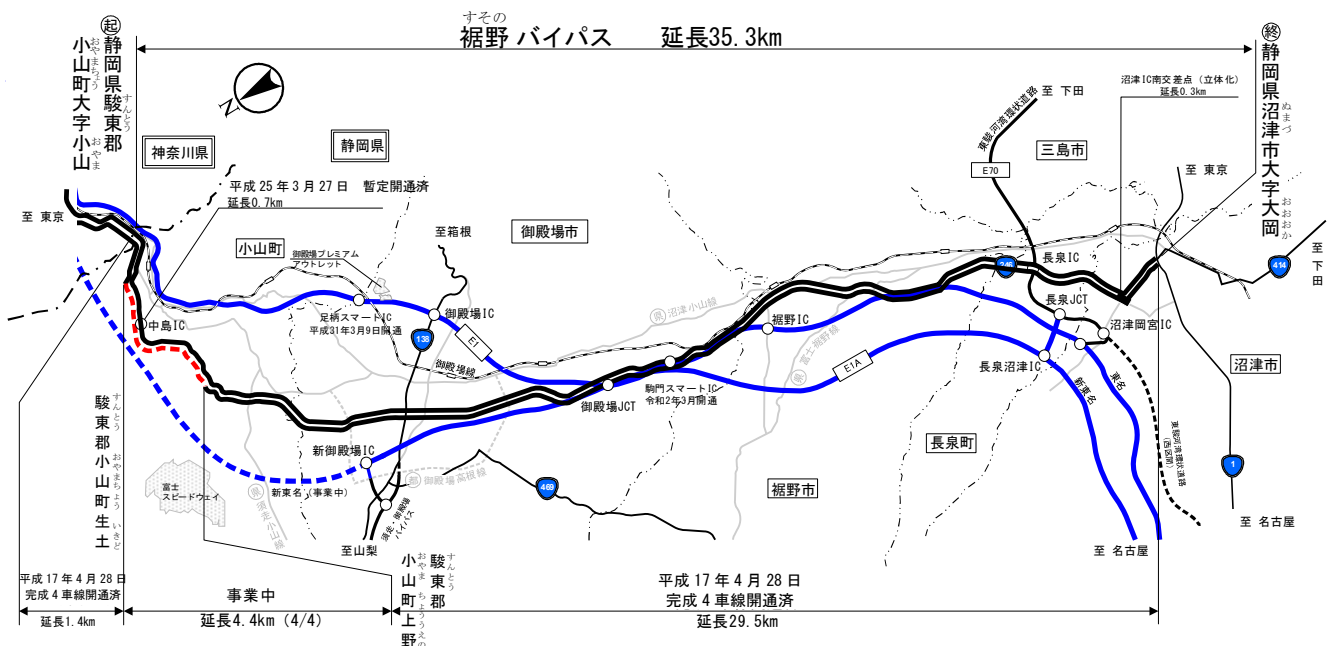
○中央自動車道の通行止め発生状況



国道246号 裾野バイパス

裾野バイパスは、駿東郡小山町小山を起点とし、沼津市大岡に至る延長35.3kmの道路です。

裾野、御殿場及び小山町市街地における交通混雑の緩和を図るとともに、首都圏と静岡県東部地域を結ぶ幹線道路としての機能を確保するため、裾野バイパスの整備を推進します。



【これまでの開通経緯】

- 平成17年4月28日 駿東郡小山町小山～駿東郡小山町生土 (延長1.4km) 完成4車線開通
- 平成17年4月28日 駿東郡小山町上野～沼津市大岡 (延長29.5km) 完成4車線開通
- 平成25年3月27日 中島(暫定)IC開通

【令和5年度の主な事業内容】

○駿東郡小山町生土～駿東郡小山町上野 (延長4.4km)

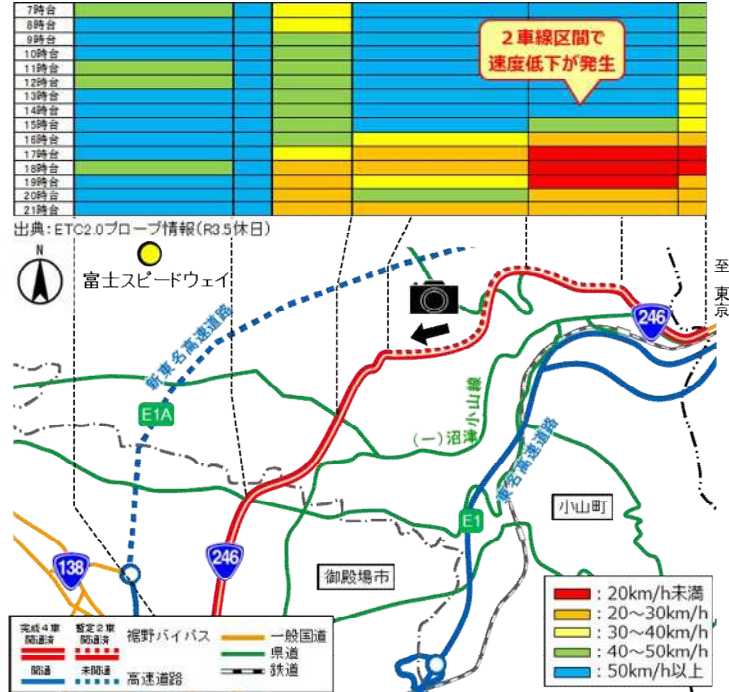
—測量、関係機関協議、地質調査、環境調査、水文調査、道路設計を推進

<整備効果>

■交通渋滞の緩和

すその
裾野バイパスの4車線整備により観光期（休日）における交通渋滞が緩和し、円滑な交通の流れの確保が期待されます。

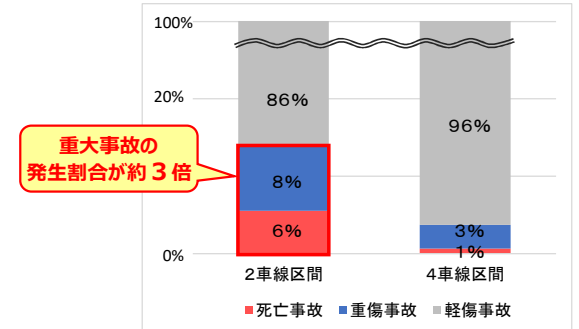
○暫定2車線区間の交通状況（休日下り）



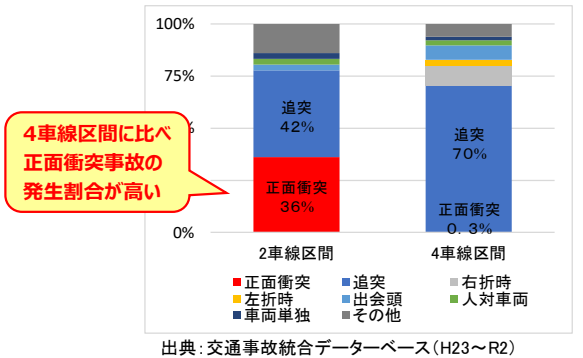
■交通事故の削減

すその
裾野バイパス4車線整備により、重大事故の危険性が高い正面衝突事故の発生件数の減少が期待されます。

○裾野バイパスの重大事故発生割合



○裾野バイパスの交通事故類型（死亡、重傷、軽傷含む）



道246号 裾野バイパス（中島IC付近）の状況写真

道路管理関係

■道路の維持管理

- ・ 日常の道路パトロールや路面清掃、除草など適切な道路の維持管理により「安全」で「安心」して通行できる道路を確保します。
- ・ 冬期には大雪に備え、他の道路管理者や警察などと連携し、道路交通網の混乱を最小限に抑えるよう効率的な除雪作業を行います。



除雪作業(国道1号)



タイヤチェック(国道138号)

■道路の老朽化対策

○メンテナンスサイクルの実施

- ・ 道路施設は5年に1度、定期的に近接目視点検を行います。
(橋梁、トンネル、函渠、横断歩道橋、情報板など)



橋梁点検車による点検



高所作業車によるトンネル点検

- ・自治体の職員が点検を適切に行えるようにするため、道路メンテナンス会議のなかで橋梁点検研修を開催する等、自治体支援を行います。



自治体向け橋梁点検研修(座学)



自治体向け橋梁点検研修(現地実習)

■道路の防災・震災対策

- 東海地震などに備え、橋の耐震対策を実施することで、地震発生時における被害を軽減し、円滑かつ迅速な応急活動を支援するための緊急輸送ネットワークの確保を図ります。

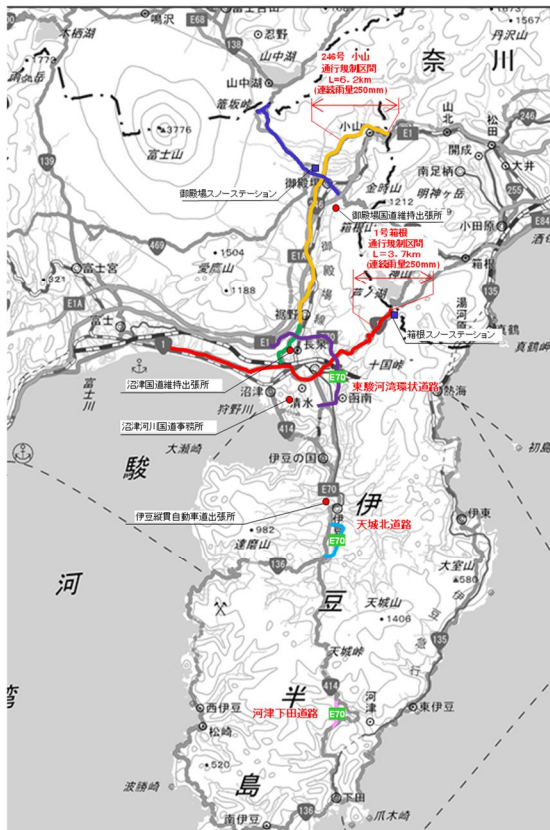
【橋梁の耐震補強実施事例】



施工前



完成



管理区間総延長 : 111.0 km

○沼津国道維持出張所 (管理延長38.4km)

国道1号 函南町～富士市 管理延長32.9km

国道246号 長泉町～沼津市 管理延長 5.5km

○御殿場国道維持出張所 (管理延長46.9km)

国道138号 小山町～御殿場市 管理延長16.7km

国道246号 小山町～裾野市 管理延長30.2km

○伊豆縦貫自動車道出張所 (管理延長25.7km)

国道1号 東駿河湾環状道路 (伊豆縦貫自動車道)
沼津岡宮IC～函南塚本IC 管理延長16.8km

国道414号 天城北道路 (伊豆縦貫自動車道)
月ヶ瀬IC ～ 大平IC 管理延長5.5km

国道414号 河津下田道路 (伊豆縦貫自動車道)
河津七滝IC ～ 河津逆川IC 管理延長3.4km

大雨

○ 事前通行規制

路線名	名称	担当出張所	交通規制		区間延長	通行規制(通行止) 気象条件
			区間	距離標		
1	箱根	沼津国道維持出張所	静岡県田方郡函南町～ 桑原地内	103.0kp～ 106.7kp	3.7km	連続雨量 250mm 換算連続雨量 210mm
246	小山	御殿場国道維持出張所	静岡県駿東郡小山町大字生土～ 静岡県駿東郡小山町大字棚頭	89.4kp～ 95.6kp	6.2km	連続雨量 250mm

大雪

○ 予防的通行規制区間

路線名	名称	担当出張所	交通規制		区間延長
			区間	距離標	
1	箱根	沼津国道維持出張所	静岡県田方郡函南町～ 桑原地内	103.0kp～ 106.7kp	3.7km
東駿河湾環状道路		伊豆縦貫自動車道出張所	静岡県田方郡函南町塚本～ 静岡県沼津市足高	109.6kp～ 126.4kp	16.8km
246	小山	御殿場国道維持出張所	静岡県駿東郡小山町大字生土～ 静岡県駿東郡小山町大字棚頭	89.4kp～ 95.6kp	6.2km
138	須走	御殿場国道維持出張所	静岡県駿東郡小山町須走地内	15.3kp～ 20.6kp	5.3km
天城北道路		伊豆縦貫自動車道出張所	静岡県伊豆市月ヶ瀬～ 静岡県伊豆市大平	0.0kp～ 5.5kp	5.5km

○チェーン規制区間

路線名	名称	担当出張所	交通規制		区間延長
			区間	距離標	
138	須走	御殿場国道維持出張所	静岡県駿東郡小山町須走地内	15.3kp～ 20.6kp	5.3km

交通安全関係

- 「静岡県事故ゼロプラン～事故危険区間重点解消作戦～」に基づき、交通挙動分析や現地地点検等により、的確な評価分析を行い、重点的かつ効果的に交通事故対策を進めます。
- 歩行者や自転車が安心・安全に通行できる歩道空間を確保します。
- 電線共同溝を整備し無電柱化することで、地震災害に強い道路を目指すとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援します。
- 生活道路における事故削減を目指し、技術的支援をはじめとする地域との連携を推進します。

◆交通安全対策

【令和5年度の主な事業箇所】

○静岡県三島市みしま やまなかしんでん山中新田 静岡1号交通安全対策事業（山中新田地区事故対策事業）

- ・道路構造を一定勾配とすることにより、交通事故の防止を図る。
－調査、工事を実施

○静岡県駿東郡すんとう おやま うえの小山上野 静岡246号交通安全対策事業（小山上野地区視距改良）

- ・安心で安全に通行できるよう線形改良を実施し、交通事故の防止を図る。
－調査、工事を実施

○静岡県駿東郡すんとう しみず たまがわ やはた清水町玉川～八幡 静岡1号交通安全対策事業（清水町地区歩道空間改善）

- ・自転車歩行者道の改善により、歩行者が安全・安心に通行できる歩道空間の確保を行う。
－調査、工事を実施

○静岡県裾野市すその みしゆく御宿 静岡246号交通安全対策事業（裾野地区歩道空間改善）

- ・横断歩道橋架け替えにより、歩行者が安全・安心に通行できる歩道空間の確保を行う。
－調査、工事を実施

◆電線共同溝

【令和5年度の主な事業箇所】

○静岡県駿東郡すんとう しみず たまがわ やはた清水町玉川～八幡 静岡1号電線共同溝事業（伏見電線共同溝）

- ・無電柱化することにより、良好な景観形成や震災時における緊急輸送道路の確保、安全で快適な歩行空間の確保を行う。
－調査設計を実施

○静岡県御殿場市ごてんば はぎわら にまいばし萩原～二枚橋 静岡138号電線共同溝事業（萩原電線共同溝）

- ・無電柱化することにより、良好な景観形成や震災時における緊急輸送道路の確保、安全で快適な歩行空間の確保を行う。
－調査設計を実施

交通安全対策等状況写真

R 138 萩原電線共同溝



地震時に倒れ、緊急車両の通行を阻害することが懸念される電柱・電線

R 246 裾野地区歩道空間改

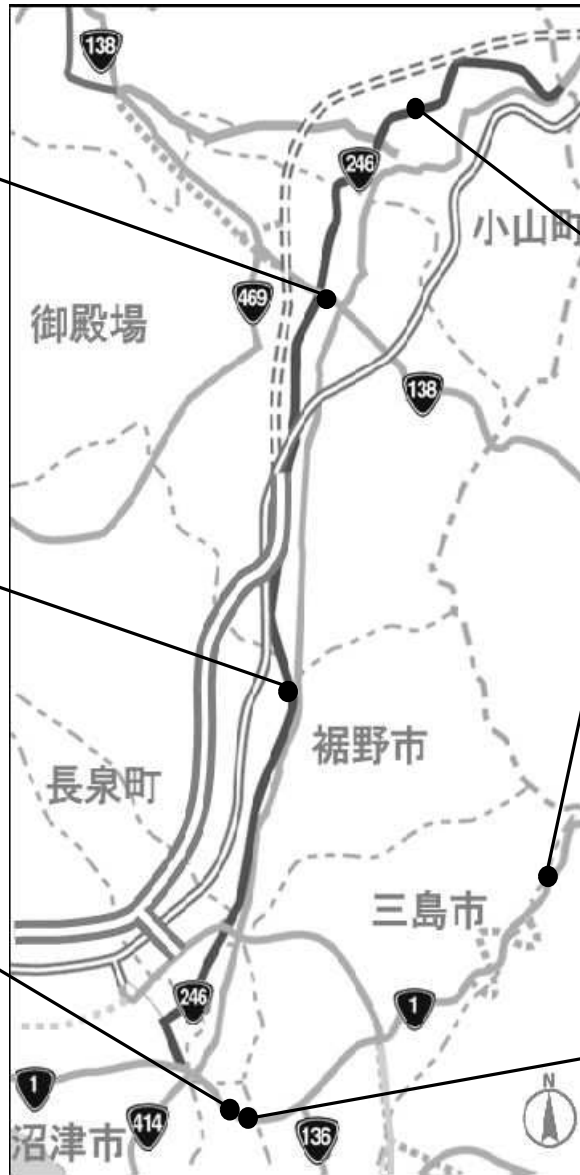


横断歩道橋の架け替えにより、歩行者が安全・安心に通行できる歩道空間を確保

R 1 清水町地区歩道空間改



清水町地区の国道1号の歩道は多くの方が利用するが植栽帯が幅員の半分を占めている



R 246 小山上野地区視距改



国道246号静岡神奈川県境付近は、大型車が多く急勾配かつ急カーブが連続

R 1 山中新田地区事故対策



道路構造が一定ではなく、運転しにくい道路となっている

R 1 伏見電線共同溝



地震時に倒れ、緊急車両の通行を阻害することが懸念される電柱・電線

沼津市花園町地区を静岡県初の「ゾーン30プラス」として登録

「沼津市花園町地区」を静岡県初の「ゾーン30プラス」として令和3年に登録しました。
 また、「静岡県事故ゼロプラン～事故危険区間重点解消作戦～」等により、重点的かつ効果的に事故重点対策を推進していきます。
 生活道路の安全対策を支援するとともに、「ヒト中心のウォーカブルなまちづくり」につながる道路空間づくりを進めています。



ハンプ



路面標示

